取付説明書

Audi A6 セダン（4G）2011 年 ➤

Audi 純正アクセサリー

ベースキャリア 4G5.071.126
発行 2011 年 1 月

サービス

目次

1 一般的な注意 1
2 安全上の注意 2
3 部品 5
3.1 付属品 5
3.2 部品一覧 6
4 車両へのベースキャリアの取付け / 取外し 7
4.1 車両へのベースキャリアの取付け 7
4.2 構成部品を取り付ける 10
4.3 ベースキャリアの車両からの取外し 11
4.4 一般的な注意 11
4.5 ベースキャリアの幅の設定 12

本書は著作権保護されています。
ご利用には著作権者の同意が必要です。

Printed in Germany

Copyright ® 2011 Audi AG, Ingolstadt

1 一般的な注意

ベースキャリアを取り付ける前に、この注意をよくお読みください。

重要

この記号が付いた説明は、安全に関する情報を説明し、事故やけがが発生する可能性を示しています。

注意

この記号が付いた説明は、車両が損傷する可能性があることを指摘しています。

ヒント

この記号が付いた説明は、追加の情報を示しています。

この取付説明書に従わない場合、Audi AG は責任を負いません。

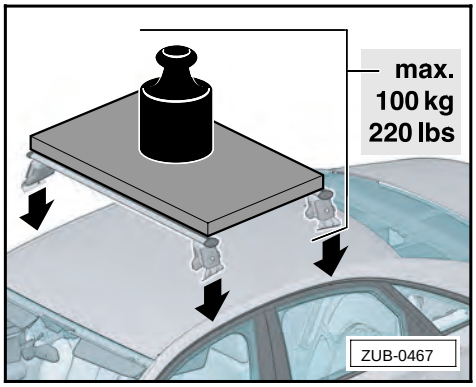
2 安全上の注意

ルーフの許容積載荷重

重要

ルーフの許容積載荷重（100 kg）を超えないようにしてください。そうしないと、事故が発生する恐れがあります。

ベースキャリア、構成部品、荷物の許容総重量（100 kg）に注意してください。

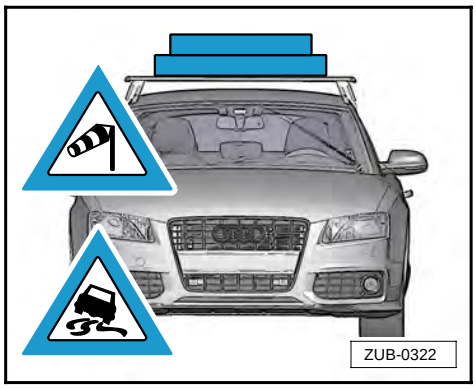


横風の受けやすさ

重要

車両の走行特性やブレーキ特性、横風の受けやすさが変わります。それに応じて運転方法を調整してください。そうしないと、事故が発生する恐れがあります。

最高速度を 130 km/h 以下に抑えることをお勧めします。

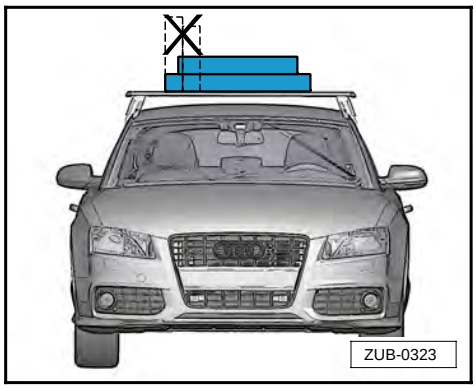


積載 - 荷重が均等になるように搭載

重要

ベースキャリアに積載する荷物は、荷重が均等になるように搭載します。そうしないと、事故が発生する恐れがあります。

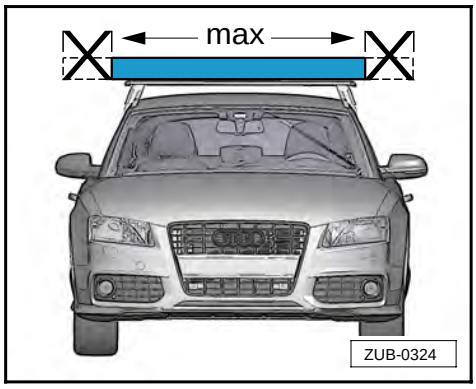
片側にだけ積載しないようにしてください。そうしないと、事故が発生する恐れがあります。



積載 - 幅

重要

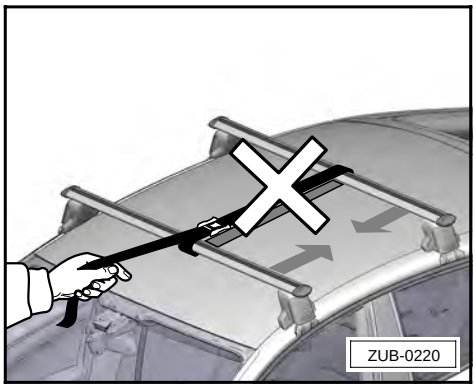
ベースキャリアの最大幅を超えないようにしてください。そうしないと、事故が発生する恐れがあります。



積載 - ベースキャリアを互いに引っ張らない

重要

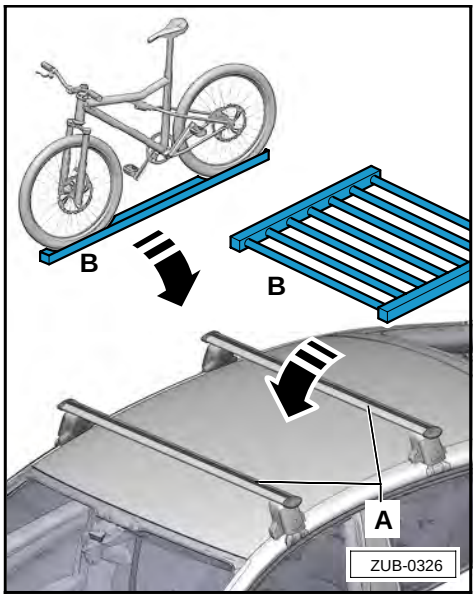
ベースキャリアを互いに引っ張らないようにしてください。そうしないと、事故が発生する恐れがあります。



積載 - ベースキャリアを最初に取り付けてから、構成部品を取り付ける

重要

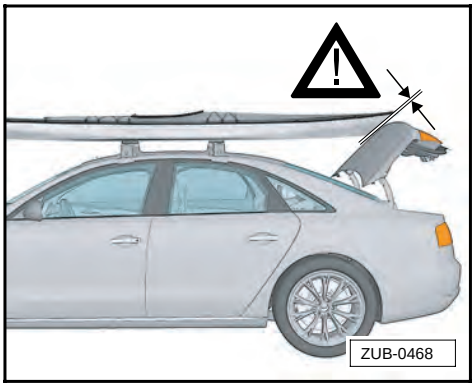
最初にベースキャリアを車両に取り付けてから、構成部品を取り付けます。そうしないと、事故が発生する恐れがあります。



積載 - トランクリッドの開口範囲

注意

車両の損傷を防ぐために、構成部品（ルーフボックス、自転車キャリアなど）を取り付ける際や、長い物を輸送する際には、トランクリッドを慎重に開くように注意してください。自動開閉式のトランクリッドを装備した車両の場合は、必要に応じてトランクリッドが開く角度を調整してください（これについては、車両取扱説明書を参照）。

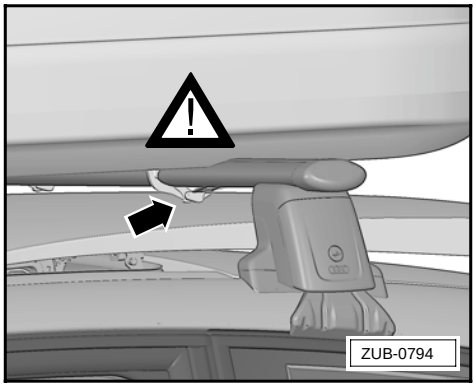


積載 - チルト機能付きスライディング ルーフの開口範囲

注意

チルト機能付きスライディング ルーフ装備車の場合、基本的に構成部品（ルーフボックス、自転車キャリアなど）を T 溝に固定する必要があります ⇒ ページ 10。

構成部品を取り付ける際は、チルト機能付きスライディング ルーフの上にスペースがあるか、ルーフを開く前に確認してください。構成部品が取付けクランプで固定されると、チルト機能付きスライディング ルーフを開くことはできません。ぶつかって損傷する恐れがあります。



一般的な安全上の注意

⚠ 重要

取付けを開始する前に、この取付説明書をよくお読みください。取付説明書の説明や安全上の注意を守らないと、お客様や他の方の安全性が損なわれます。

⚠ 重要

走行する前に、ベースキャリアと構成部品のすべてのボルトと接続部がしっかりと固定されていることを確認し、必要に応じてボルトを締め直してください。

ボルトと接続部を適切な間隔で再確認し、必要に応じてボルトを締め直してください。悪路を走行する場合は、短い間隔でボルトと接続部を点検してください。

このような点検を怠ると、ベースキャリアや構成部品が緩んだり、外れたりして、事故につながる恐れがあります。

⚠ 重要

他の道路通行者の安全のために、ベースキャリアと構成部品を使わないときは、車両から取り外しておくようにしてください。

⚠ 重要

修理および部品の交換は、専門ディーラーにご依頼ください。Audi 提携会社が保有する純正交換部品を使用することをお勧めします。

ⓘ 注意

ベースキャリアの取付けに構成部品を使用するのと使用しないのでは、車両の高さが変わります。駐車場の入口、トンネルや地下道などでは、必ずこの点に注意してください。

ⓘ 注意

構成部品の使用、不使用にかかわらず、ベースキャリアを取り付けたままでは洗車機に入れないでください。

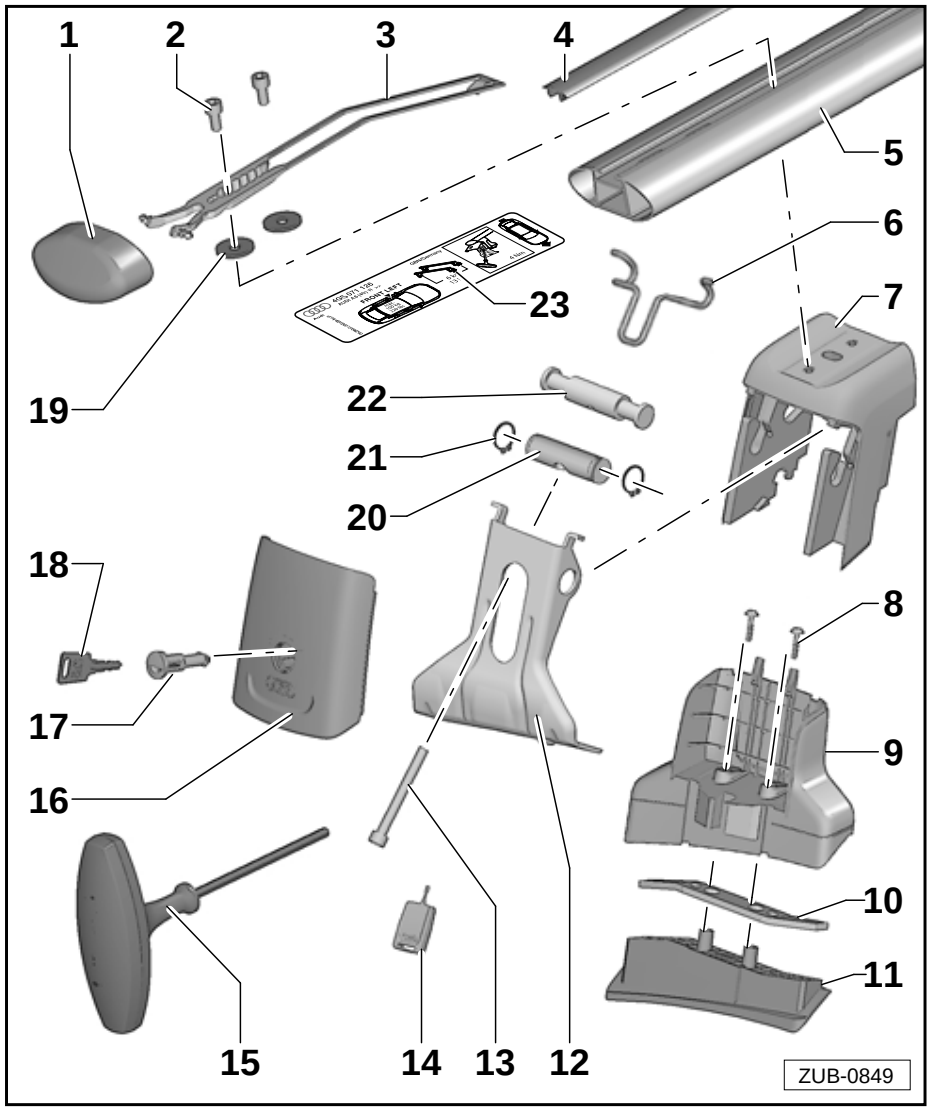
3 部品

3.1 付属品

– ベースキャリアを取り付ける前に、部品がすべて揃っている
か確認してください。

個数	名称	説明
1	フロント ベースキャリア	走行方向左下側のマーク
1	リヤ ベースキャリア	走行方向左下側のマーク
1	プロファイル カバー	長さ 2500 mm
1	トルク レンチ（4 Nm）	
1	取外し用工具	
2	キー	
1	取付説明書	

3.2 部品一覧



1 - プロファイル キャップ（4 個）
2 - 六角ボルト M6 x 12（8 本）
3 - プロファイル キャップ リバウンド ストラップ（4 本）
4 - プロファイル カバー
5 - プロファイル パイプ（2 本）
6 - ヒンジ ワイヤ（4 本）
7 - ベース ボディ（4 個）
8 - ボルト 4x15（8 本）
9 - プラスチック ベース（4 個）
10 - インレイ（4 個）
11 - ルーフ サポート（4 個）
12 - かぎ爪部（4 個）
13 - 締付けボルト（4 本）
14 - 取外し用工具
- ❑ ルーフ トリム ストリップのプラスチック プラグ取外し用

15 - トルク レンチ（4 Nm）
16 - カバー キャップ（4 個）
17 - ロック（4 個）
18 - キー（2 本）
19 - ワッシャ M6 （8 個）
20 - カレ ボルト
21 - サークリップ
22 - ベース ボディ ボルト
23 - ステッカー（2 枚）

ヒント

「front left」（左フロント）または「rear left」（左リヤ）のマークは、プロファイル パイプ下側にあります。

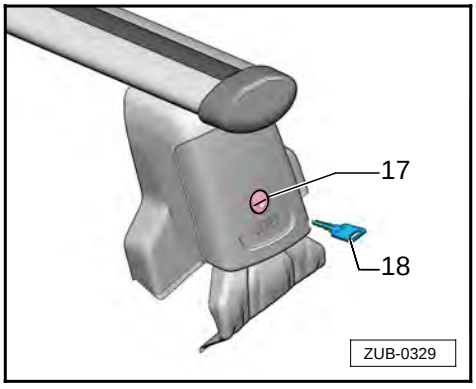
4 車両へのベースキャリアの取付け / 取外し

4.1 車両へのベースキャリアの取付け

ベースキャリアの取付け準備：

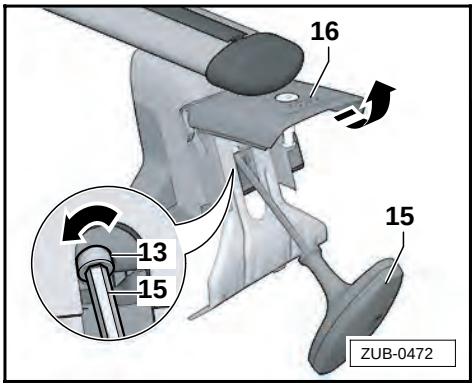
– キー -18- でロック -17- を開けます。

– ここでベースキャリアのキー番号を登録してください。そうすれば、紛失した場合に簡単に交換できます。

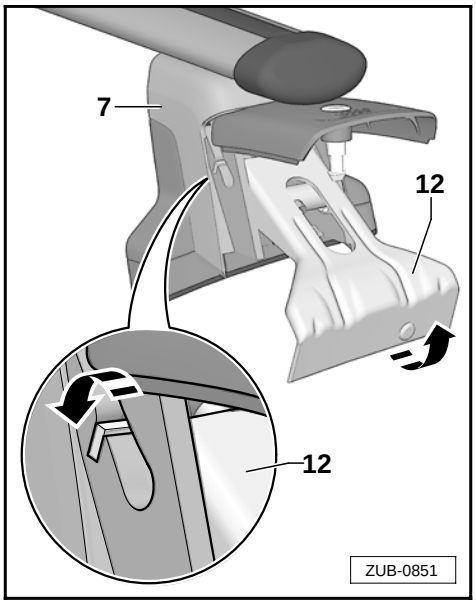


– カバーキャップ -16- を開けます

– トルク レンチ -15- をボルト -13- に差し込み、手ごたえが感じられるところまで回して外します。



– かぎ爪部 -12- を回し、かぎ爪部の「鼻」をベース ボディ -7- の取付け位置に引っかけます。



車両の取付け準備：

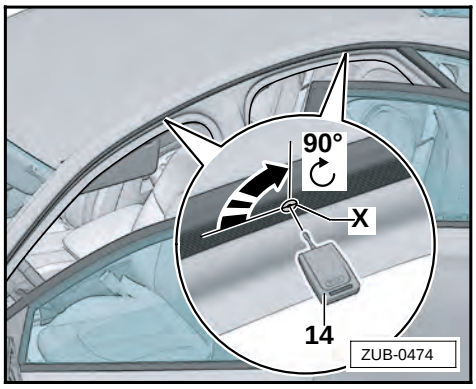
– 車両のドアを開けます。

取付け穴-X-は、ルーフ トリム ストリップの下側にあり、プラスチック プラグで閉じられています。

– 取外し用工具-14-をプラスチック プラグに止まるところまで差し込み、90° 回して、プラスチック プラグを慎重にルーフ トリム ストリップから引き抜きます。

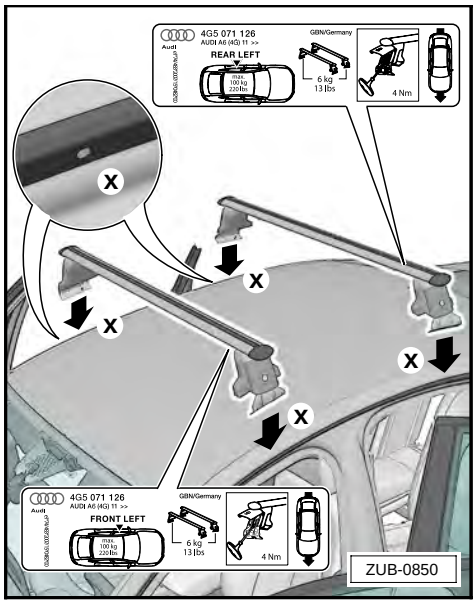
– もう一方の取付け穴で同じ作業を行います。

- 車両のルーフとベースキャリアの接触部分を入念に清掃します（ほこりや油分を取り除きます）。



ベースキャリアの取付け：

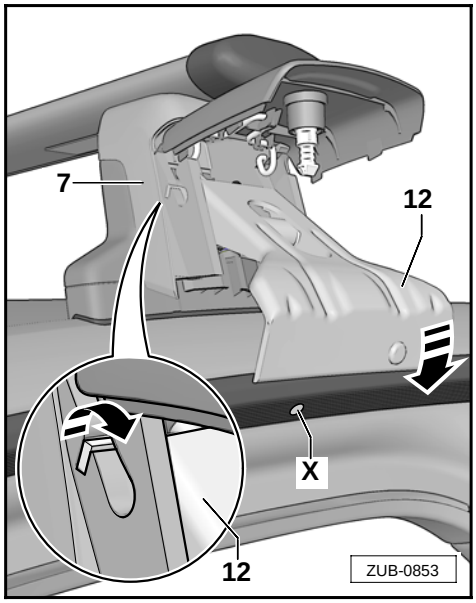
– 両方のベースキャリアを取付け穴-X-の部分で慎重に車両ルーフに取り付けます。その際に、かぎ爪部が取付け位置にある必要があります。このときに、プロファイル パイプの下側のステッカー-23-を確認してください。



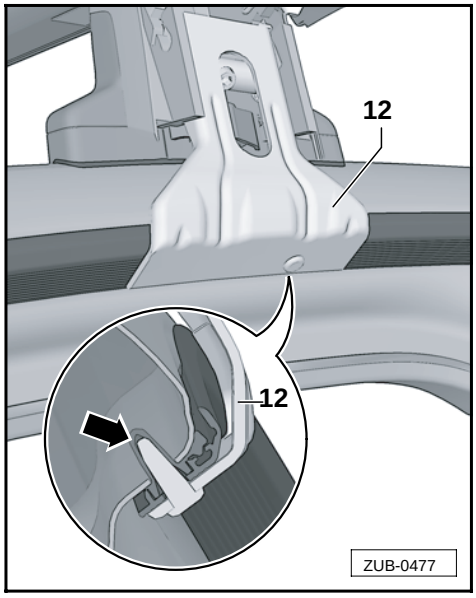
ヒント

プロファイル パイプの下側のステッカーは車両左側にあり、印刷された矢印が走行方向を向いているはずです。

– 上のかぎ爪部 -12- をベース ボディ -7- の取付け位置から外して、下へ回します。



– ベースキャリアの正確な取付け位置を確認します。かぎ爪部-12-の位置決めボルトが正確にルーフ トリム ストリップの取付け穴の下-矢印-に来るようにする必要があります。必要に応じて、ベースキャリアを前後に動かします。
– かぎ爪部-12-を慎重に上にずらし、その際に位置決めボルトを取付け穴に差し込んで、かぎ爪部をこの位置で保持します。

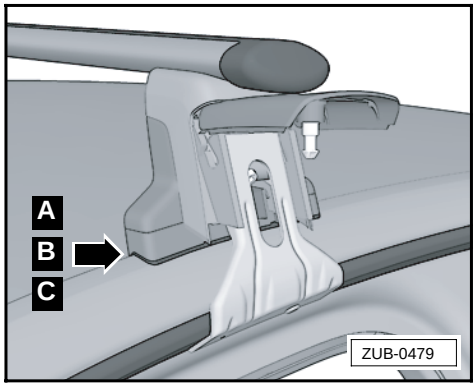


注意

かぎ爪部の取付けボルトは、正確に取付け穴の下に来るようにする必要があります。

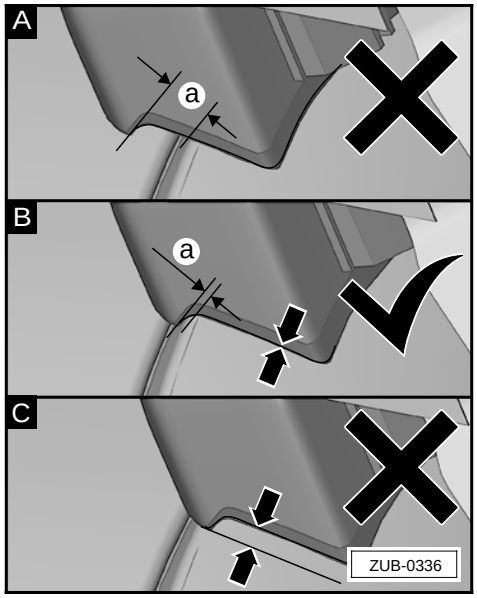
かぎ爪部-12-を簡単に上にずらすことができない場合は、キャリア ブリッジの位置を確認して、修正してください。

– ルーフの端の取付け位置-矢印-に注意しながら、キャリア ブリッジを側面から調整します。

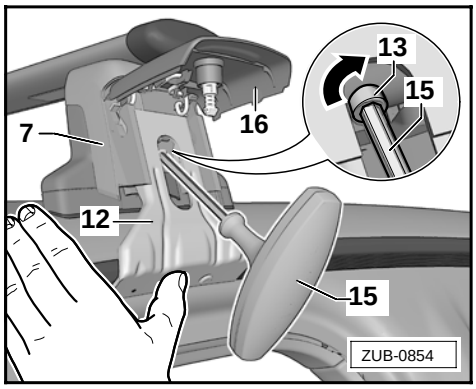


すき間-a-は最大 1 mm までです。

サポート ベース ハウジングのサポート ラバーは、同一平面上に取り付けないようにしてください。専門ディーラーに幅の設定の点検と調整を依頼されることをお勧めします ⇒12 ページの「4.5 ベースキャリアの幅の設定」。このために、ベースキャリアを取り外します。

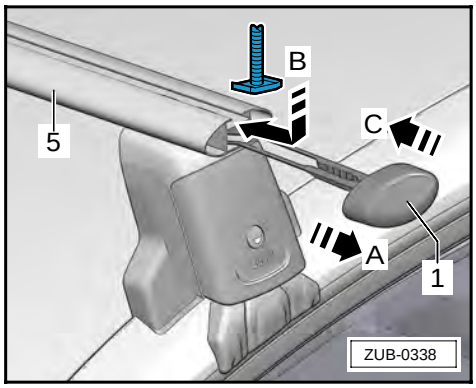


– ボルト -13- をトルク レンチ -15- で交互に軽く締めます。
– ベース ボディ -7- とかぎ爪部 -12- の位置を確認し、必要に応じて修正します。
– 締付けボルト -13- をトルク レンチ -15- で順番に、トルク レンチのカチッと言う音が聞こえるところまで締め付けます。これによって、必要な締付けトルクが得られます。
– カバー キャップ -16- を閉めて、ロック -17- をキー -18- で閉じます。
– もう 1 つのキャリア ブリッジも同様に取り付けます。



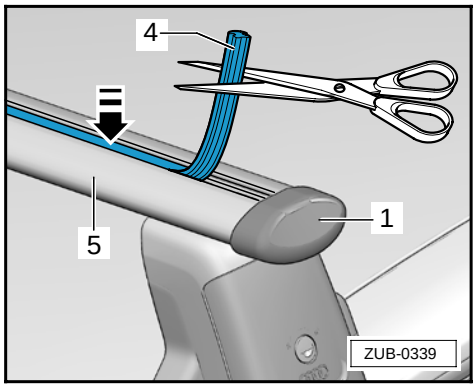
4.2 構成部品を取り付ける

– 構成部品を構成部品の取付説明書に従って、同様に固定します。
– 構成部品を取り付けるために、プロファイル キャップ -1- をプロファイル パイプ -5- から引き抜きます -矢印 A-。
– 構成部品を既存の T 溝に通します -矢印 B-。
– プロファイル キャップ -1- を押し込みます -矢印 C-。



構成部品を使用しないときは、T 溝をプロファイル カバー -4- で閉じておきます。

– プロファイル カバー -4- を、プロファイル キャップ -1- を閉じた状態でプロファイル パイプの長さに合わせます。
– プロファイル カバー -4- をプロファイル パイプ -5- の T 溝にかぶせ、T 溝に押し込みます -矢印-。

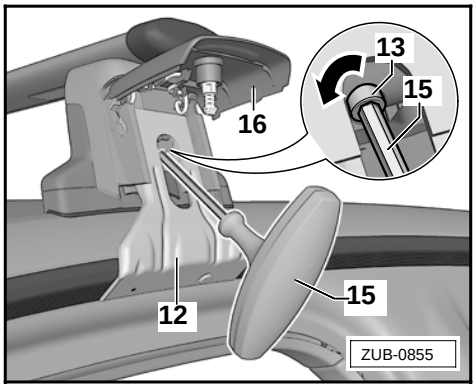


ヒント

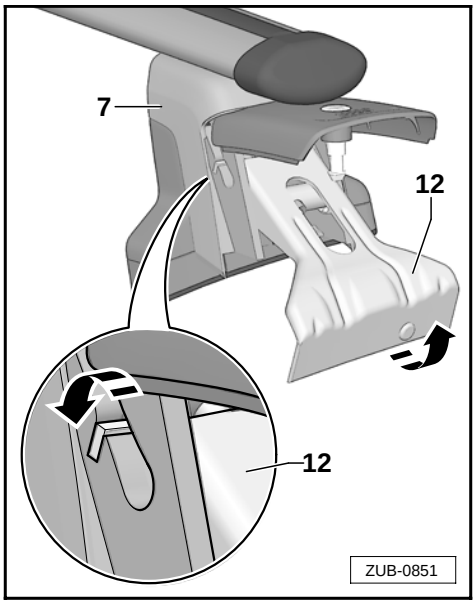
- **ルーフに積載する場合には、適用される道路交通法および各国の規定に従ってください。**
- **構成部品の使用、不使用にかかわらず、ベースキャリアが使用されていない場合でも、便宜上取り付けたままにされていることがよくあります。この場合、空気抵抗が高くなるため、不必要に燃費が悪くなり、また騒音が増します。**
- **このため、ベースキャリアを使用した後は、取り外すことをお勧めします。**
- **ベースキャリアを装備して走行すると、風切り音が発生する場合があります。**
- **必要に応じて、風切り音を小さくするために、付属のプロファイル カバーを空力騒音が最適なバリエーション（波形のゴムシート）と交換することができます（注文番号 4L0.071.633.A）。**

4.3 ベースキャリアの車両からの取外し

– 荷物および構成部品を取り外します。
– ロックをキーで開けて、カバー キャップ -16- を開きます。
– 車両のドアを開けます。
– トルク レンチ -15- で締付けボルト -13- を左右交互に回して、手ごたえが感じられるところまで緩めます。
– 左右のかぎ爪部-12-を止まるところまで下にずらします。位置決めボルトは、取付け穴から見えなくなります。



– かぎ爪部 -12- を上に上げて「鼻」をベース ボディ -7- の取付け位置に引っかけます。
– ベースキャリアを車両ルーフから取り外します。
– かぎ爪部 -12- を取付け位置から外して、下へ回します。
– ボルト -13- を約 10 回転回して、締め付けます。
– カバー キャップ -16- を閉めて、ロックをキーで閉じます。
– プラスチック プラグを手でルーフ トリム ストリップの下側の取付け穴に差し込みます。



4.4 一般的な注意

技術データ

ベースキャリア セットの重量 : 約 6 kg

ルーフ積載荷重と荷重

現在のルーフ積載荷重の算出：

	ベースキャリアの重量
+	構成部品の重量
+	荷物の重量
=	現在のルーフ積載荷重

⚠ 重要

以下の値を超えないようにしてください

- **最大許容ルーフ積載荷重（100 kg）**
- **最大許容軸荷重**
- **最大許容総重量**

各車両の値 ⇒ 車両取扱説明書 - 事故が発生する恐れがあります。

メンテナンスのヒント：

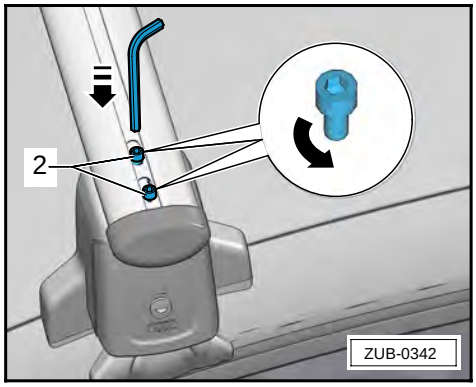
ベースキャリアは常にクリーニングとメンテナンスを怠らず、特に冬季は汚れと塩分を取り除くようにしてください。

4.5 ベースキャリアの幅の設定

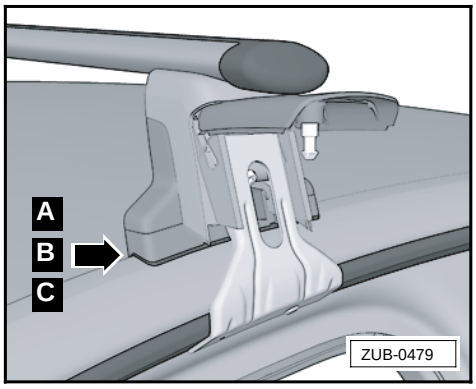
サポート ベースの位置が該当する車両に対して正しく設定されていない場合は、専門ディーラーにご相談ください。

– ベースキャリアを車両に取り付けます ⇒ ページ 7。

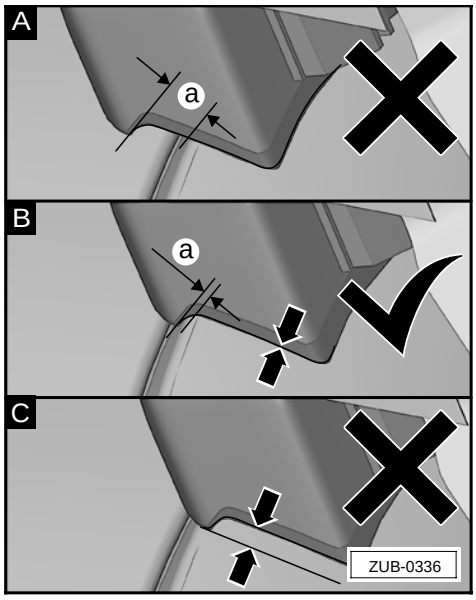
– 六角棒スパナ（5 mm）を使用して、右のサポート ベースの六角ボルト -2- を緩め、サポート ベースをずらせるようにします。その際にベースキャリアは車両のルーフに残っています。



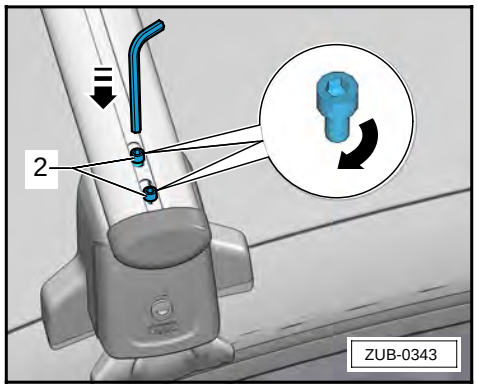
– 右側のサポート ベース ハウジングのサポート ラバーがルーフの端と同一面になるように、ベースキャリアを設定します -矢印-。



すき間 -a- は最大 1 mm までです。



– 六角ボルト -2- を 8 Nm で締めます。
– 必要に応じて、もう 1 つのキャリア ブリッジで同じ作業を繰り返します。



重要

六角ボルトがすべて締まっているか点検します（8 Nm）。締まっていないと、ベースキャリアが緩んだり、外れたりして事故につながる恐れがあります！